こうしゅう 市議会広報

マチイロ
マチを好きになるアプリ
※広報紙をスマートフォンやタブレットで

76号
2024.10.31 発行
山梨県甲州市議会

特集①　厚生経済常任委員会の子育て支援座談会
～ママ×支援員×委員～@のびちび
子育てママに聞いてみた！……P ２～
特集②　令和５年度各会計決算審査……P ４～
９月定例会レポート……P ８
一般質問　１１人の議員が市政を問う！……P １０～
常任委員会レポート……P ２２～
議会トピック（子ども議会ほか）……P ２４～

甲州市子ども議会「世界農業遺産によるまちづくり」をテーマに８月１日開催！

子育て支援座談会

去る7月19日、厚生経済常任委員会の企画・運営により、「のびちび」に参加されている子育てママさんと座談会を行いました。
皆さんは甲州市にて実際に子育てをしている最中、色んな意見や悩み、改善してほしい事が飛び出しました。本特集は様子をまとめています。

～ママ×支援員×委員～ @のびちび

子育てママに聞いてみた！

今回参加した皆様

議員　甲州市の子育て環境をより良くするため、皆さんの子育て経験や支援利用のきっかけについて伺います。初めて出産された際に、どのようにして支援センターや他の支援に繋がったのか、その際に役立った情報や改善点をぜひお聞かせください。

山口さん　移住してきた際、出産時には人との繋がりがなく不安でしたが、母親学級でほっとスペースを紹介されました。そこで他のママたちと出会い、支援センターの情報も得られ、孤独感を解消できました。同じ境遇のママたちと悩みを共有できる環境が、自分にとって大きな救いとなりました。

前田さん　コロナ禍で厳しい状況で育児をスタートしました。検診時に支援センターを紹介され、3ヶ月から利用しました。多くの不安に対し、小さな相談にも乗ってもらえたことで心が楽になり、育児に対して安定した気持ちで向き合えるようになり、大変助かりました。

武井さん　1人目のときは支援センターを利用しませんでしたが、2人目のときにママ友から紹介されて頻繁に通うようになり、先生や他の母親との交流が心の支えとなりました。出産前に支援センターを見学できる機会があれば、1人目のときもスムーズに利用できたのではと思います。今は新しい方にも紹介しています。

手厚い支援の甲州市

内田さん　甲州市に引っ越して、ちょうど母子手帳を受け取るときから子育てがスタートしたんですが、まず驚いたのが出産子育てに関わって経済面でのサポートがしっかりしていることでした。保健師さんの訪問も何度もあって、本当に安心できました。勝沼支所でいろんな手続きができるのも便利でしたが、市役所に行かなきゃいけないこともあって、もう少し近場で全部できるといいなと思いました。あと、小学校の給食費が無償なのも本当に助かっていて、これからも続けてほしいです。

あや先生　出産後の不安はあまり感じませんでしたが、やはり妊娠期から繋がることの大切さを改めて実感しました。知っているのと知らないのでは不安の度合いが全然違います。甲州市のサポートは手厚いですが、もっと早い段階で支援が受けられると、さらに良いと思います。

支援現場の声を

堀井先生　私は保育園で働いてきましたが、現在は支援センターで勤務しています。自分の支援センター以外にも他の施設を見て、多くを学びました。予約不要で年齢別に利用できるように工夫し、新しいお母さんたちが気軽に来られる環境を整えています。今後もお母さんたちに寄り添い、甲州市での子育てをサポートしていきたいです。

塚田先生　特に1人目の子どもの最初の3ヶ月が一番大変だと感じます。生まれる前から支援の場所を知っておくことが重要です。一時預かりや産後うつなどの支援を行っており、育児が難しい時に一緒に考える場を提供しています。昔は大家族の中で育児を学ぶ機会がありましたが、今はそうした機会が少ないため、同じ悩みを持つ仲間と話す場が必要です。また、特別な配慮が必要な家庭への支援も行っています。

相沢先生　20年近く甲州市で子育て支援を行ってきましたが、その時々でお母さんたちの悩みが変わってきています。子どもが成長するにつれて新しい悩みが出てくるので、子育て支援は終わりが見えません。

議員　30年前子育てをしていました。支援センターは3歳までですが、その後の保育園や小学校への接続が大切だと思います。どうすればもっと連携を強化できるでしょうか。

内田さん　小学校でのフォローアップがあり、息子も楽しんで通っていますが、夏休み期間中、未就学児対象の施設は上の子を連れて行けず、遊ばせる場所が限られて困っています。公園等、幅広い年齢層が遊べる場所や空間がもっと必要だと感じています。

議員　先輩のお母さんが新しい妊婦さんと繋がっていく話を聞き、甲州市の手厚い支援があってこそできることだと感じました。私自身、4人の子どもと孫が4人いますが、甲州市の支援に感謝しています。また、公園の話が出ましたが、私の家の近くにも動物がいるので、気軽に寄っていただければと思います。

議員　私たちの世代は子育てを妻に任せていた部分が多く、当時は家族の支援が自然にあったため、今のような不安は少なかったと思います。現在は、自宅の敷地を利用してバレエ教室やダンスイベントを企画し、子どもたちに新しい機会を提供しています。昔の反省を込めて、今の子どもたちにも質の高い体験をしてほしいと思っています。

公園や児童館が欲しい

塚田先生　私たちも小学生向けの夏休み企画やキッズダンスを行っています。甲州市には児童館が必要だと感じています。児童館は18歳まで利用でき、不登校の子どもや地域の人々が集まる場所としても重要です。公園の話も含め、小学生や赤ちゃんが一緒に遊べる場所が必要です。

参加したママさんたち

相沢先生　児童センターの会議で、一部の保護者が学童に行きたがらない子どもをどうするか悩んでいました。児童館があれば、そういった子どもたちのフォローができるのではないかと感じます。甲州市に児童館があれば、幅広い年齢層に対応でき、より良い支援が提供できると思います。

武井さん　5年間で子育て環境が変わりました。完全ミルク育児のお母さんが増えたと感じます。コロナや物価高騰で、特にオムツやミルクが高くなり、負担が大きく、補助があれば助かると思います。妊娠から出産、子育てには多くのお金が必要で、3人目を考えるのが難しくなっている現状があります。統一された支援やまとまったお金があれば、子育てがもっと楽になるのではないかと感じます。

議員　ママ友の情報交換が重要だと感じました。どんな話題がよく出るのですか。

藤田先生　センターでは将来の金銭的な不安や子育ての孤立化が話題になります。児童館のような安心して過ごせる場所や、世代を超えて交流できる場所が必要だという声もあります。また、妊娠期から支援センターを利用できることをもっと広め、出産前からのサポートを増やすことで、お母さん同士のつながりが深まると良いと思います。

内田さん　甲州市の良い点を伝えることができ、他の意見も聞けたのは非常に良い機会でした。また、市民が気軽に意見を伝えられるポストや意見カードのような仕組みがあれば、さらに多くの意見が集まり、市にとっても有益だと思います。

議員　給食費無償化や保育料無償化などの支援に満足の声も多く聞けました。一方、公園や児童館のように、世代を超えて集える場所を求める声も大きくあることが伺えました。子育て環境も5年経つと大きく変わっていくとの事なので、常に現状把握していくことが必要と感じました。本日はありがとうございました。

◎ママ参加者　前田由美、武井美咲、山口祐子、内田里沙
◎センター職員　相澤裕美、塚田純子（あっぷっぷ）堀井絵美、窪田綾（こすもすこども館）古屋さおり（ちゅうりっぷくらぶ）藤田恵美（のびのびチビッコひろば）
◎育児ボランティア勝沼　小尾、富山、荻原、武藤
議長　平塚　悟
厚生経済常任委員会委員
◎中村勝彦　○矢崎友規
日向　正　岡部紀久雄
小林真理子　小野公秀
佐藤浩美　荻原哲也
（敬称略）

令和５年度の各会計決算について、９月11・18・19・20・24・25・27日の７日間、予算決算常任委員会を開催し審査を行いました。決算審査は総務文教分科会と厚生経済分科会に分かれ実施し、慎重審査の結果、全ての会計を「認定すべきもの」と決しました。審査の内容を要約してお伝えします。

令和５年度 決算 一般会計

歳出は 232億3,213万5,006円 を認定

【一般会計とは】福祉、衛生、土木、教育など、市の運営に関する基本的な経費を計上している会計です。

大日影トンネル遊歩道総事業費 3億2925万円

歳入

問 ふるさと納税寄付金が令和４年度31億4600万円から36億9000万円に伸びた要因を問う。

答 果物の豊富さと業者との密な連携に尽きる。

問 大日影トンネル遊歩道の財源内訳について問う。

答 総事業費3億2925万6400円に対し、地方債が2億3100万円、クラウドファンディング型ふるさと納税寄付金2110万4000円、ふるさと支援基金の繰入金6000万円、一般財源1705万2400円である。

問 入湯税の内容を問う。

答 公共・民間施設の日帰り75円、宿泊150円を徴収しており、合計で1350万1500円となる。

歳出（総務文教分科会）

■総務費

問 各行政区長均等割額5万2000円に世帯数、区長代理年額1万2000円、組長960円に1世帯80円を乗じる補助。

答 区長均等割額5万2000円に世帯割730円掛ける世帯数、区長代理年額1万2000円、組長960円に1世帯80円を乗じる補助。

問 車両管理システム保守業務委託料100万4000円と、移住支援事業補助金610万円の状況を問う。

答 移住・定住魅力発信事業は9月12日と2月4、5日を使い委託業者が募集をし、市内1泊2日で新宿発甲州市泊、新宿へ戻るツアー。1回23、24人で金額に見合った内容である。

移住支援事業補助金の昨年実績は、家族で移住子ども60万円の160万円が1件、夫婦で子ども1人130万円が1件、世帯で100万円1件、単身で60万円の4件610万円であった。

問 市民バス塩山高校線の運行補助金231万3000円の利用状況の把握は。

答 山梨交通独自で走らせていて年間利用者数は3317人で利用料は300円。

問 このままバス運行で補助金を出していいのか、代替えも考える必要性を問う。

答 他の県立高校、他自治体等も研究し確認を取るなかで検討していく。

■教育費

問 英語検定の補助を問う。

答 新たに中学生に対して行った取り組みで、2級1件、準2級27件、3級42件、4級35件、合計105件、市内全中学校で実施。

安心・安全に内部を観察出来る大日影トンネル遊歩道

甲州市実用英語技能検定料補助金について（市公式HP）

動画でCheck!

分科会では賛否同数

歳出（厚生経済分科会）

■民生費

問 生活困窮者自立支援事業で研修費が少ない理由は。

答 研修に直接行かず、資料で勉強したためである。

問 子ども家庭障害者支援センターでの相談件数は。

答 全部で183件、うち児童虐待は48件あった。

■衛生費

問 出産子育て応援事業による効果を問う。

答 妊娠期の面談、相談等の率が上昇し、子育て期では、ほぼ全員に面談できた。

問 猫の去勢不妊手術補助金、犬猫等死体収集運搬委託の実績を問う。

答 不妊去勢治療は257頭、死体回収は211件。

問 小規模水道の運営で昨年度、課題となったことは。

答 上下小田原と大久保平地区の一部で一時的な水不足等が発生した。

■農林水産業費

問 農福連携推進農業者支援事業の実績を問う。

答 実績は7件である。

問 地域おこし協力隊の受入れ先である支援機関の評価が必要ではないか。

答 コミュニケーションをとり定期的に話をしている。

観光商工振興協議会が実施した桜フェスタ（花火）

問 アグリトレーニー制度の昨年度の成果を問う。

答 2泊3日程度のおためし7名、2～3週間のインターン事業は3名であった。

【就農特化型】甲州市地域おこし協力隊『アグリトレーニー』のご案内

■商工費

問 第2次の商工業振興計画策定では前期の計画の評価検証を行ったのか。

答 委員会で検証結果をもとに検討を行った。

問 交流保養センター大菩薩の湯の赤字の要因は何か。

答 初年度で、備品消耗品等の購入や燃料費等の物価高騰もあり、支出が増加した。自主事業が一部実施できなかった影響もある。

問 観光商工振興協議会での花火の打ち上げ費用は。

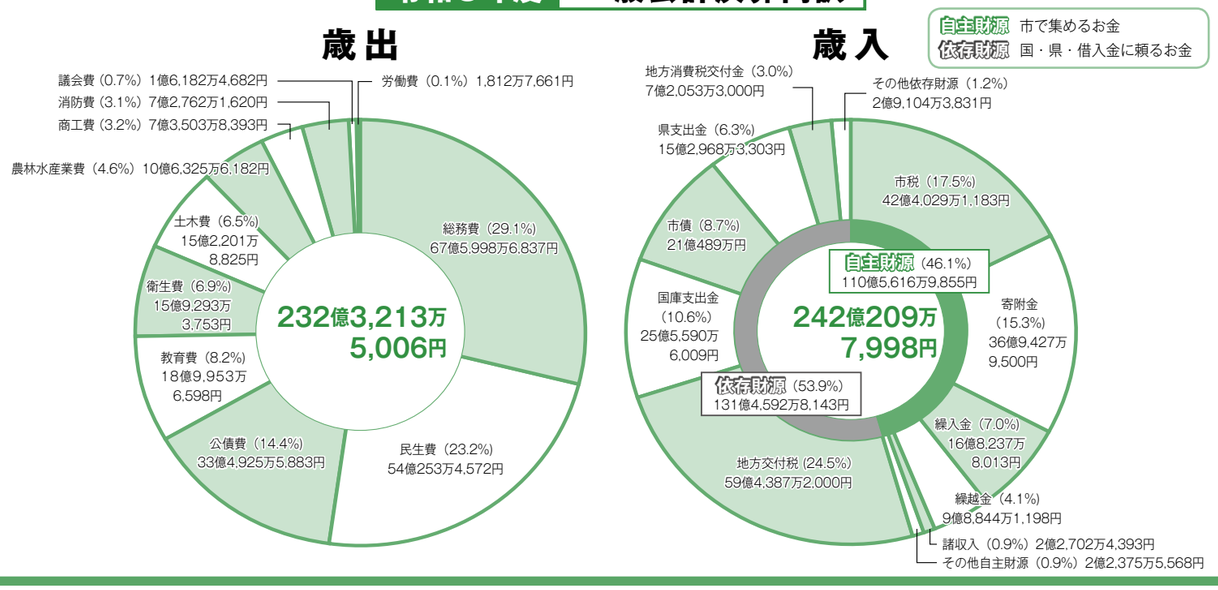
答 150万円である。

■土木費

問 道路修繕業務委託の要望件数と実績を問う。

答 塩山北地区18か所、塩山南13か所、勝沼大和15か所の修繕を実施し、整備申請は全体で736件ある。

令和５年度 一般会計決算内訳



国民健康保険事業
糖尿病予防が第一の取組課題

■国民健康保険事業

問　特定検診受診者や検診結果説明会参加者、人間ドック受診者数などが減少している。受診率の現状は。

答　一つは国保の被保険者自体の減少がある。また、甲州市受診率は全国で10位以内に入るレベルを維持しているが、４年度が58・4％で、５年度が57％の見込みと減少している。国の目標は60％なので、あと数％の受診があれば、達成できる。

受診率アップのため受診しやすい仕組みや方法が日々検討されている

問　減免制度があっても不納欠損が増えている。なぜか。

答　減免制度には７割軽減、５割軽減、２割軽減があるが、それでも滞納や不能欠損が出ている。金額で160万円、件数で30件ほど増えている。

問　減免措置の世帯数、人数を問う。

答　医療分と後期高齢者支援分が同じで、７割軽減が1320世帯、1750人。５割軽減が652世帯、1131人、２割軽減が484世帯903人である。

問　データヘルス計画の内容は。

答　甲州市は生活習慣病を起因とする慢性疾患全般が医療費の上位を占めている。中でも、他地域と比較して糖尿病の有所見者割合が多い特徴がある。糖尿病は重症化すると失明、手足の切断や透析治療となる。この抑制を第一に取り組んでいる。

介護予防教室（市HP）

■診療所事業

問　大藤診療所、田中医師の丁寧な診察など、運営の内容を問う。

答　発熱外来、ワクチン接種、僻地やまちなかの高齢による外来診療ができない方に向け、訪問診療にも熱心に取り組まれている。

■後期高齢者医療

問　歳入の不能欠損９万2000円の原因は何か。

答　不能欠損額、６人９期分、亡くなられた後、債務相続人が所在不明等による消滅があり、時効を迎えたことによるものである。

■介護保険事業

問　介護予防教室の認知度調査で、すこやか脳トレ、いきいき健幸教室の認知度が低い。高めるための取り組みを問う。

答　ケアマネ、ホームページ、広報を中心に周知を図っているが、さらなる周知に努めている。

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	40億8,418万8,954円	40億7,426万3,642円
診療所事業	5,453万7,348円	5,418万2,125円
後期高齢者医療	5億2,375万6,026円	5億1,982万6,143円
介護保険事業	38億2,185万3,996円	37億7,883万2,955円
居宅介護予防支援事業	2,239万2,288円	926万4,250円
大藤財産区	597万4,658円	446万3,011円
神金財産区	754万4,715円	574万1,829円
萩原山財産区	1,344万3,485円	1,051万578円
竹森入財産区	421万9,727円	251万7,368円
岩崎山保護財産区管理会	25万109円	21万6,352円

【特別会計とは】
特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計と区別して設けられる会計です。

【企業会計とは】
市が運営する企業（公営企業）の会計です。

動画で Check!

勝沼ぶどうの丘
純利益824万円だがその内容は

■水道事業

問　供給を受けている水の量に対して利用できている水の量の差はどのようになっているか。

答　令和２年度には86％ぐらいだったが、努力して令和５年度には96％まで使用することができるようになった。

問　上下小田原水道整備事業、菱山浄水場工事の進捗状況を問う。

答　小田原地区水道整備事業は金額ベースで55％、菱山浄水場は建屋が出来上がり88％整備が進んでいる。

問　送った水に対して、管の老朽化などにより漏れた率はどれくらいか。

答　有収率※は77％。漏水の率を金額にすると１億4000万円分、このうち800万円が峡東広域水道企業団分である。年間０・１から０・５％ずつ改善してきた。これからも漏水調査、修繕に努力していく。

■下水道事業

問　一般会計からの繰入金のうち法定外の繰り入れはどのような使途だったか。

答　維持管理費を下水道収益から賄うのだが、賄いきれない部分に充てている。

問　普及率と水洗化率は。

答　市全体でそれぞれ59・64％、83・3％である。

■勝沼病院事業

問　手術室内、院内のLED化などが令和５年度には出来なかったようだが対応は。

答　外来や手術室が少し暗いが、診療に大きな支障があるというわけではない。光熱費の削減や明るさの点で提案を受けている。

■勝沼ぶどうの丘事業

問　負担金が、令和４年度86万5千円であるが令和５年度には270万円に増えた原因を問う。

答　恋人の聖地観光協会へ18万円、全日本司厨士協会へ４万8千円、観光商工振興協議会へ180万円（活動支援金30万円、花火150万円）支出したのがその原因である。

問　営業損失399万1千円だが、花火の支出150万円がなければ損失がもっと少なかったのではないか。

答　経営全体で見ると824万1996円の利益が出ている。市の観光とおもてなし、商工業の盛り上がりを考えて支出した。

問　市長が代表を務めるぶどうの丘企業から、負担金として、市長が代表の観光商工振興協議会へ協賛金を入れている。会計処理上問題はないか。

答　**代表監査委員**　観光商工振興協議会は営利を目的としたものではないため問題ない。協議会から市への補助金は副会長名で申請している。ぶどうの丘への協議会からの依頼も副会長名であり問題ない。

勝沼ぶどうの丘が協賛したクリスマス花火

企業会計	事業収益	事業費用
水道事業	10億8,534万9,762円	9億8,765万7,305円
下水道事業	9億7,826万3,384円	9億1,863万7,135円
勝沼ぶどうの丘事業	8億2,255万9,573円	8億555万8,632円
勝沼病院事業	2,129万6,134円	2,127万5,304円

甲州市水道ビジョン（市HP）

予算決算常任委員会
◎丸山国一　○矢崎友規
中村勝彦　日向　正
岡部紀久雄　廣瀬明弘
高畑一幸　青柳好文
髙野浩一　飯島孝也
小林真理子　相沢俊行
小野公秀　佐藤浩美
有賀公子　荻原哲也

※水道の有収率とは、浄水場で作られた水の量に対して、料金として回収できた水の割合を示す指標。有収率が高いほど、供給した水が無駄なく収益に結びついていることを意味する。

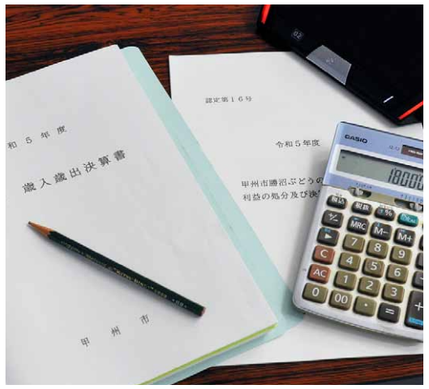
9月定例会レポート
議案の審議結果

令和6年甲州市議会9月定例会は、8月28日から9月30日までの34日間の会期で開かれ、令和5年度各会計決算や令和6年度一般会計補正予算案、条例案など43件の事件について慎重審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

令和5年度一般会計決算
討論・採決により賛成多数で認定

◆令和5年度一般会計、特別会計等の各会計決算は、予算決算常任委員会に付託され、慎重審査の結果、原案のとおり認定されました。（審査内容の詳細は4ページから7ページを参照）

◆令和5年度一般会計歳入歳出決算は、「認定すべきもの」とした予算決算常任委員長の報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で認定された。



一部討論・採決の結果令和5年度各会計決算は認定された

■委員長報告に反対討論
小林真理子議員　市長が会長を務める観光商工振興協議会への補助金は成果の内容が不明瞭であり目的や効果が検証できない。大菩薩の湯の指定管理料の使途、運営について赤字が出ないよう適切な指導を行ったとは言い難い。

佐藤浩美議員　観光商工振興協議会への補助金の成果が不明瞭。デマンドバスは多額の補助金が投入されているが勝沼大和で運行がない。国民健康保険の子どもの均等割りを減免して、更なる子育て世代への支援をするように一般会計からの繰り出しを検討すべき。

◆令和5年度ぶどうの丘事業会計の利益の処分及び決算は、「可決及び認定すべきもの」とした予算決算常任委員長の報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で認定されました。

■委員長報告に反対討論
小林真理子議員　地域貢献や宣伝効果を狙い観光商工振興協議会へ180万円もの負担金を支出できるほど経常利益はないはず。

■委員長報告に賛成討論
中村勝彦議員　利用者増加、経常利益の確保が出来た実績は、経費の削減や効率化、積極的な広報宣伝活動が展開された証であり評価に値する。

◆令和6年度一般会計補正予算（第3号）は、6306万3000円を追加し、総額を198億7885万5000円としました。歳出内容は、**教育費**に塩山中学校のスクールバス乗降のための施設整備事業として6306万3000円を追加するもので、可決された。

◆令和6年度一般会計補正予算（第4号）は、14億3128万8000円を追加し、総額を213億1014万3000円としました。主な歳出内容は、**総務費**にふるさと納税事業費等として12億4190万5000円、**民生費**に児童保護措置費等として6325万5000円、**農林水産業費**に農業振興一般経費等として1億2855万5000円、**教育費**に地区公民館管理運営費等として2023万4000円を追加し、**衛生費、土木費、教育費**は職員給与費等を合計2640万3000円減額するものです。主な歳入内容は、**寄附金**にふるさと納税寄附金等として10億円を追加するもので、可決された。

◆請負変更契約の締結については、塩山中学校大規模改造工事（建築主体工事）において、生徒の動線及び安全確保のための交通誘導員の増員分と一部トイレ内装工事における工法変更などの請負変更契約を締結するもので、可決された。

◆加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願、再審法改正を求める請願は、全会一致で採択され、関係省庁に意見書を提出した。

令和6年9月定例会議案等議決結果一覧表

（賛成＝○　反対＝●　退席＝△　欠席＝欠）

種別		議案番号	案件名＼議員名	議会広報掲載ページ	荻原哲也	有賀公子	佐藤浩美	小野公秀	矢崎友規	相沢俊行	平塚悟	小林真理子	飯島孝也	髙野浩一	青柳好文	高畑一幸	廣瀬明弘	岡部紀久雄	日向正	中村勝彦	丸山国一	結果
9月定例会	条例案	議案第52号	甲州市重度心身障害者医療費助成金支給条例及び甲州市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	P.22																		
		議案第53号	甲州市財政調整基金条例の一部を改正する条例制定について																			
		議案第54号	甲州市手数料条例の一部を改正する条例制定について	P.22																		
		議案第55号	甲州市ひとり親家庭医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		議案第56号	甲州市ぶどうの国文化館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P.22																		
		議案第57号	甲州市営定住促進住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P.22																		
		議案第58号	甲州市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について																			
	補正予算案	議案第59号	令和6年度甲州市一般会計補正予算（第3号）	P. 8 P.23																		
		議案第60号	令和6年度甲州市一般会計補正予算（第4号）	P. 8 P.23																		
		議案第61号	令和6年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）																			
		議案第62号	令和6年度甲州市診療所事業特別会計補正予算（第1号）	P.23																		
		議案第63号	令和6年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）																			
		議案第64号	令和6年度甲州市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		議案第65号	令和6年度甲州市水道事業会計補正予算（第1号）																			
		議案第66号	令和6年度甲州市下水道事業会計補正予算（第1号）																			
		議案第67号	令和6年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算（第1号）	P.23																		
		議案第68号	令和6年度甲州市勝沼病院事業会計補正予算（第1号）																			
		議案第70号	令和6年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）																			
	その他の案件	議案第69号	請負変更契約の締結について	P. 8 P.22	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事案	議案第71号	教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		議案第72号	公平委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議案第73号	人権擁護委員の推薦について		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定案	認定第1号	令和5年度甲州市一般会計歳入歳出決算	P.4,5 P. 8	●	○	●	○	○	○		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		認定第2号	令和5年度甲州市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	P. 6	○	○	●	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		認定第3号	令和5年度甲州市診療所事業特別会計歳入歳出決算	P. 6																		
		認定第4号	令和5年度甲州市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	P. 6																		
		認定第5号	令和5年度甲州市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	P. 6																		
		認定第6号	令和5年度甲州市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算	P. 6																		
		認定第7号	令和5年度甲州市大藤財産区特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		認定第8号	令和5年度甲州市神金財産区特別会計歳入歳出決算																			
		認定第9号	令和5年度甲州市萩原山財産区特別会計歳入歳出決算																			
		認定第10号	令和5年度甲州市竹森入財産区特別会計歳入歳出決算																			
		認定第11号	令和5年度甲州市岩崎山保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算																			
		認定第12号	令和5年度甲州市水道事業会計の利益の処分及び決算	P. 7	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
		認定第13号	令和5年度甲州市下水道事業会計の利益の処分及び決算	P. 7																		
		認定第15号	令和5年度甲州市勝沼病院事業会計決算	P. 7	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		認定第16号	令和5年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計の利益の処分及び決算	P. 7 P. 8	●	○	●	○	○	○		●	△	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
	報告事項	報告第4号	健全化判断比率報告について		−	−	−	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
		報告第5号	資金不足比率報告について																			
		報告第6号	甲州市一般会計継続費の精算報告について																			
		報告第7号	令和5年度甲州市教育委員会の事務に関する点検・評価報告について																			
	請願	請願第1号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	P. 8	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
		請願第2号	再審法改正を求める請願書	P. 8	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

一般質問

9月定例会では、産業・教育・福祉など市政全般にわたり、9月9日・10日の2日間、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧いただくか、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいずれも12月上旬の予定です。

会議録検索システム

質問議員	質問内容	ページ
矢崎　友規 （無所属）	①地域活性化の取り組みについて ②市民生活向上の取り組みについて	11
相沢　俊行 （甲州希望の会）	①人口減少でも「賢く縮む戦略」に向けた行政力向上について ②里山としての扇山（恵林寺山）及び小倉山のナラ枯れについて	12
小林真理子 （市民ハーモニー）	①都市計画のビジョンについて ②施政方針、市政の概要について	13
廣瀬　明弘 （フォーラム進夢）	①学校給食について ②獣害対策について ③イベントについて	14
佐藤　浩美 （日本共産党）	①子ども・若者の健やかな成長を保障するために ②「重要文化的景観保存活用計画」策定について ③AIデマンドタクシーの導入について ④熱中症対策について	15
荻原　哲也 （市民ハーモニー）	①ナラ枯れ被害により想定されるクマの出没・人身及び農産物への被害防止対策について ②塩山温泉との協業による高齢者向け福祉事業の提供並びに空き公共施設の活用について ③こどもが遊ぶ環境づくりについて	16
有賀　公子 （公明党）	①マイナ保険証の普及と利用促進について ②ケアラーについて ③帯状疱疹ワクチンについて ④災害への準備と対策について	17
高畑　一幸 （政和クラブ）	①農業振興について ②地域伝統行事の継承について ③インフラ（道路）整備について	18
日向　正 （ひまわり）	①人間ドック助成金について ②魅力あるまちづくりについて ③ぶどうの丘の施設について ④カーボンニュートラル、温暖化対策について	19
飯島　孝也 （市民ハーモニー）	①健康増進と介護予防の促進について ②ふるさと納税の充当に関する考え方 ③移住定住促進について	20
岡部紀久雄 （政和クラブ）	①大日影トンネル観光施設の有効な活用について ②文化財施設の保護と観光振興との連携について ③市役所別館の解体に伴う再利用の考えについて	21

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

矢崎　友規 議員

無所属

観光商工課 HP

問 観光立市として交流人口増へのブランディングは

答 観光資源を効果的に生かす

問 新型コロナウイルス感染症の影響による観光客数の状況は。

答 令和3年には約92万人、平成30年対比で約37％まで落ち込んだ。現状もコロナ禍前の水準には戻り切れていない。

問 全国ではコロナ禍前以上に回復している観光地もある。観光立市としてブランディングの在り方が必要と考えるが。

答 地域のブランド育成を掲げ差別化を図る事とし、多くの資源を生かした効果的なブランディングを研究し観光客増加に取り組む。

問 市内商工等の活性化として※域内循環の在り方に注視する必要があり、地域資源の有効活用や底上げも大切と考えるが。

答 地元企業の育成及び地域経済の活性化を図る上で重要な視点であるが、受注業者の自由な事業活動を制限する事は難しく、適正な競争原理の下、公平性を確保する事とする。

問 市内における労働力不足の現状についての対策は。

答 雇用の場の創出、拡大、若年者の就労支援、働きたい人が活躍できる地域社会整備の三点を重点課題とし山梨労働局と雇用対策協定を締結した。

問 人材不足が顕在化している。AIやロボットなどのテクノロジー活用、外国人労働者の受け入れなども急務と考えるが。

答 企業からの外国人労働者の受け入れ届け出先となっている山梨労働局と連携し、本市の状況を把握し課題解決に向け取り組む。

デジタル技術等の活用についてはIT補助事業を行っており、情報収集を図り効果的な施策に向け研究する。

市内で開催されたイベントに訪れる観光客

問 本市の適切な人口規模について、人口減少と住民幸福度について問う。

答 現在の人口は約2万9千人台であり、将来人口推計では令和17年に2万3千人台となるとされる。この人口予測に対し第2次甲州市総合計画内でのそれぞれの対策を進め、令和9年度予測人口を約2万7千人とし、この数値を継続する事により住民幸福度を高めるよう取り組んでいく。

問 令和5年度決算においては、地方債残高は前年度より約11億円減少の約17.5億円とあるが、今後の公共施設、社会インフラの老朽化を考えると不安的要素が多いと考えるが。

答 自治体の財政状況を多様な角度から分析する為に実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、公益企業の資金不足比率の5つの指標を算定し公表することが義務とされている。いずれの比率も改善しているが、新行財政改革大綱に掲げた改革を実施する中で、さらなる行政改革を進める。

※地域内で経済活動を循環させること。地域内で生産された商品やサービスが地域内で消費されることで、地域内の経済が活性化し、外部への資金流出を防ぐことを目指すこと。

問 行政力向上のため事務事業評価方法の改善は

相沢　俊行 議員
甲州希望の会

甲州市総合計画
（甲州市まちづくりプラン）
（市 HP）

答 総合計画等の進捗に合わせて評価・検証を実施している

ナラ枯れ拡大防止対策の立木燻蒸処理

問 ２０４０年の甲州市で65歳以上を占める予測が出ている。将来、生産年齢人口の減少と超高齢化が待ち受けるが、行政力向上のため行政評価と事務事業の評価をどのように実施しているのか。

答 各事業を、総合計画の実施計画に基づき3年のローリング方式で、毎年度、進捗状況の確認及び評価を実施している。また、総合戦略は、毎年度、具体的な施策に対する評価も行っており、新行財政改革大綱に基づく実施計画についても、行政改革推進委員会の意見等を基に検証を行っている。

問 生産年齢人口減少に伴う税収など歳入の減少を見据えて、スクラップ・アンド・ビルド等も含めた事務事業評価法を確立する必要があるのではないか。

答 新規事業を実施する際は、事業の新陳代謝を促すため、併せて廃止事業の検討も行っている。毎年、スクラップ・アンド・ビルド等の視点を含め事務事業の評価をしていることから、事業実施の検討はできていると認識している。

問 ＡＩ活用等を前提とした事務事業評価に取り組む考えはあるか。

答 行政サービスの向上及び業務内容の効率化のための生成ＡＩの導入に向け検討をしている。今後、持続可能な行財政運営のためにＡＩ活用は必須であるので、人口減少の中でも賢く縮む戦略のツールとして取り組んでいく。

問 扇山（恵林寺山）や小倉山のナラの木が枯れる被害が広がっている。原因について調査しているのか。

答 市内の山林では本年に入り急激にナラ枯れ被害が広がっている状況である。原因は、カシノナガキクイ虫がナラの幹に穴を開けて潜入し、ナラ菌を木の内部に蔓延させることにより被害が発生している。

問 今後のナラ枯れ対策の内容とスケジュールについて問う。

答 ナラ枯れ予防対策として健全木への虫の侵入を防ぐ粘着剤の貼付やビニールシートによる被覆を実施。駆除対策として、昨年度から年2回の被害木への薬剤燻蒸処理などを実施している。また、年内に山梨県と合同で被害木の調査を行い、調査結果を踏まえて今後の対策を進めていく。

問 ナラの実などは熊の餌でもあり、ナラ枯れ被害が広がり、今後、熊が餌を求めて人里に下りてくることが懸念されるが対策について問う。

答 近年、市内ではイノシシや熊が出没し、農作物などが被害を受ける状況があり、市内猟友会と連携する中で対策を行っている。また、ナラ枯れ対策を進めることも、間接的に獣害対策になると認識している。

問 塩山駅前都市計画道路 甲州市らしさが見えてこない

小林真理子 議員
市民ハーモニー

ふるさと納税
（市 HP）

答 コンビニがある駅前にする

問 塩山駅南側の都市計画道路は、来年度事業着手を予定しているとのことだが昭和43年に決定したこの計画道路の開発を、なぜ56年もたった今、事業に着手するのか。

答 **市長** 塩山駅前を南へ向かう下於曽線と、それとつながる塩山中学校南側と国道411号線までの上塩後と下赤尾線の設計を4月からスタートする。

この道路によって、特にホテルは大きな道路があることが必要なことや、コンビニ等がない駅前ではなくなり、レストランが併設され、これを核にして商店を増やしていく。そういう、にぎわいの創出が必要。

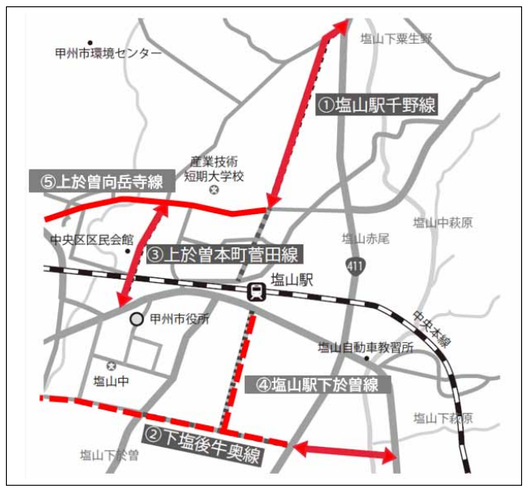
さらに、用地内の空地、農地を住環境の整った場所にしていき、若者が住宅を建てたり、いろいろしてくれば賑わいが出てくる。これは人口減少対策にもなる。

問 この2つの路線の具体的な効果と完成する時期を問う。

答 周囲の国県道や市道へアクセスの向上、大型の緊急車両等の通行が可能となり、緊急時の医療対応時間の短縮につながる。また、両側歩道による安全な通学路の確保、用途の変更により、道路沿いへの商業施設等の建設もできるようになる。完成はおおよそ10年後を見込んでいる。

問 塩山駅下於曽線の幅員は当初12メートルであったが、今回16メートルとなった。理由を問う。

答 現在の社会情勢、また立地適正化計画での用途地域内の住環境整備等によりまちづくりを推進するには道路の機能強化が必要と判断し、両側歩道を2メートル、停車帯・植樹帯を2メートル拡大し、16メートルに決定した。



都市計画道路概略図「都市計画公聴会資料抜粋」

問 広い道路を整備して、多くの住宅地が確保できたとしても、どこにでもあるような街並みになるのではないか。甲州市らしい街並みをイメージできない。地域のコミュニティーも寸断されるのではないか。

答 塩山駅下於曽線には、未利用地、遊休地等約6ヘクタールほどある。これらは道路ができることによりコミュニティーの寸断というより低未利用地の活用が進むと考えている。

問 塩山駅北口の都市計画道路は産業技術短大の道路までとしているが、事業化はいつか。

答 南口の事業進捗を見据えていく。

問 ふるさと納税のことだが、状況を問う。

答 昨年度の実績は金額で約36億８６００万円余り、件数が約23万件だった。

問 好調の背景には仲介サイトによるポイント還元の恩恵もあった。総務省はこれを禁止することを決めたが対応を問う。

答 制度変化に対応して、しっかり取り組んでいく。

廣瀬　明弘 議員

フォーラム進夢

甲州市学校給食の献立
（市 HP）

問 学校給食でのアレルギー対応を問う

答 市の学校給食ガイドラインを作成している

塩山下塩後地内の民地に出没した鹿

問 学校給食での食物アレルギー対応の現状を問う。

答 学校給食食物アレルギーガイドラインを作成し体制を整えている。就学、進学、転入の際、保護者と面談を行い、原因食物の種類や症状の確認をしている。子ども本人による食材の除去、食材除去食の提供、一部または完全弁当持参の中から個々に応じた対応をしている。

問 アレルギーに特化した専門家は配置しているのか。

答 専用調理室において、栄養士、アレルギー担当者及び調理師を配置し他の食材が紛れ込まないようにしている。勝沼地区4小学校の単独調理場ではスペースが限られているため、除去食への対応が必要である。

問 栄養士の事情はどうか。

答 献立作成、調理指導、保護者とアレルギーに関する面談等の業務のほか、各学校での給食、食育指導、家庭科での調理指導を6名体制で行っている。アレルギー対応は、すべての栄養士が情報共有し万全である。

問 原因食物と知らずに摂取してしまいアレルギーを発症した場合の対応は。

答 ガイドラインにマニュアルがある。その場合は、学校、教育委員会が保護者や医師と連絡を取り、必要な処置を行い対応する。

問 富士吉田では11校同時に食物アレルギーが発生したが、本市での対応は。

答 少しでもアレルギーを引き起こす原因物質の可能性がある場合は、給食で提供しないようにしている。

街中に出没した鹿への対応

問 鹿が街中に出没した際の対応を問う。

答 民家が近い場合、猟友会による発砲が困難で、多くの場合は見守りを続けながら追い払いをする。

問 市民への周知方法は。

答 市の防災行政無線を使い該当地区のみに放送し注意喚起をしている。学校が近い場合は、学校へ連絡し児童生徒、保護者へ周知を依頼している。またパトロールをしながら歩行者への注意喚起を実施し速やかな周知に努めている。

問 近隣市との連携を問う。

答 市町村の境で出没した場合は、近隣自治体と相互に連携し対応している。

問 捕獲できない鹿が戻ってくる可能性があるが、その対応策は何かあるのか。

答 その都度、市民の皆様に影響が及ばないように対策を進めていく。

問 大規模な花火大会を開催する考えはあるか。

答 費用面や関係団体の協力体制に課題があるため、今後もイベントの中で花火を打ち上げていく。

問 ドローンショーを検討する考えはあるか。

答 費用面の課題があり、今後研究していく。

佐藤　浩美 議員

日本共産党

こどもまんなか　こども家庭庁
公式 HP

問 放課後児童クラブの現状は

答 児童一人当たり専有面積が確保されていないところもある

問 こども基本法、こども大綱が子ども政策を考えていく上でどのように受け止めているのか問う。

答 こどもまんなか社会を実現するため、子ども・若者の意見を聞き対話し、総合的かつ一体的にこども施策を進めなければならない。

問 家庭センターの人材配置とこれまでの取り組みは。

答 センター長兼統括支援員1名、子ども家庭支援員として、社会福祉士1名、保健師1名、家庭相談員1名、母子保健の相談担当の保健師6名である。

児童虐待相談として対応中の要保護児童183件、本年度新規案件23件である。

問 家庭に行って対応できる体制は。

答 小中学校を訪問して、学校長や養護教諭等と直接面接、支援を要する児童生徒の状況を確認している。

問 子ども・若者の居場所の現状を問う。

答 児童センター、放課後児童クラブのほかに、公園や図書館、公民館など子どもの居場所がある。

問 児童館の現状を問う。

答 塩山南、塩山北児童センター、東雲ふれあい親子館の3施設があり、放課後児童クラブを併設している。

問 子どもの居場所としての児童館設置と若い年代のコーディネーターが必要だと思うが。

答 自由に利用できる居場所としての機能を果たせていない。今後、在り方を研究していく。

問 放課後児童クラブの現状と改善点を問う。

答 奥野田児童クラブは児童一人当たりの専有面積が確保されていないので改善に向け対応していく。

問 指導員の資質の向上と処遇の改善について問う。

答 放課後児童支援員等資質向上研修、児童クラブ安全計画に基づく災害時の緊急対応や不審者対応に関する研修へ参加し優秀な人材育成に努めている。支援員のみを対象とした処遇改善の考えはない。

問 子ども計画策定は。

答 子ども・若者の意見を聴取、反映させ関係各課と情報を共有する中で協議をしていく。

問 重要文化的景観保存活用計画を策定することが必要なのか問う。

答 保存活用計画をきっかけに、価値や魅力に気づき市民の皆さんと共有することで、未来に受け継ぎ、歴史文化に根差した魅力ある地域の創造につなげていくためである。

問 AIを使って塩山地区のデマンド交通を市内全域に広げる考えを問う。

答 デマンドバス導入の適否を含め運行エリア、車両必要台数を研究する。AIの導入は効果が見込めない。

問 低所得者に対してのエアコン購入補助金の考えは。

答 県、県内他市での実施事例が無いので動向を注意しながら検討する。

1人当たりの専有面積が確保されていない
奥野田児童クラブ

荻原　哲也 議員

市民ハーモニー

年始めに募集された
「趣味の教室」（募集終了）
（市社会福祉協議会公式 HP）

問　放課後児童クラブの子どもたちに、校庭の活用はできないか

答　関係機関と連携して研究する

「放課後児童クラブ」が入る井尻公民館は
井尻小に隣接する

問　今年はより一層クマの出没や被害が懸念される状況にあるが、出てきたクマを捕獲して殺処分してしまえばよいという話でもろんない。捕獲と保護のバランスを踏まえた被害防止策をどうするのか。

答　ツキノワグマの管理捕獲については、令和7年度に実施される県の個体数調査の結果により、以後の方針が示される。現時点では、ツキノワグマに対して特別に対策を行う予定はなく、全体的な被害防止対策を進めていく。

問　塩山温泉との協業により、勝沼健康福祉センターと同程度の金額で、温泉を利用できる福祉サービスを実施し、住民が自分の住む場所の近くで福祉を受けられる環境を整備することはできないか。

答　勝沼健康福祉センターは、市内全域を対象とした送迎車の運行及び、午後5時までの営業時間を毎日8時まで延長することで利用者数も増加しているので、その考えはない。

問　廃止された塩寿荘の隣にあった「趣味の家」と同様の機能を、既存の公共施設を活用し市民に提供する考えはないか。

答　塩寿荘が閉館となった平成28年度以降も、市民文化会館に移しそれぞれの教室が活動を継続している。今後も高齢者をはじめ、市民の憩いや交流の場として、各種公共施設を活用していく。

問　環境センター跡地に公園を整備する計画が進んでいるが、現時点では子どもたちにとって自由に遊べる場所になる要素は少ないのではないか。整備に当たって子どもの声を聞き、「子どものため」、子育てを応援する要素を盛り込むことを要望する。

答　跡地公園整備は、軽スポーツを中心とした芝生広場や、健康増進につながる要素を取り入れた計画となっている。一つの用途に特化した公園ではなく、お年寄りから子どもまでが健康的で楽しく、憩いの空間として整備を推進していく。

問　子どもの権利条約では、遊ぶ権利が規定されている。

　放課後児童クラブは、子どもの遊ぶ権利を保障できる場でなければならない。小学校の校庭を活用し、遊ぶ環境を十分に確保している自治体もある。保護者から遊ぶ環境を不安視する声があるが、市の見解は。

答　放課後児童クラブの現状と課題を探るため、利用者等を対象に児童クラブ利用者アンケートを実施し、現在集計中である。小学校校庭の活用については、支援員の配置など運用における課題を整理し、先進的な事例を参考にしながら、教育委員会等関係機関と連携の中で研究する。

有賀　公子 議員

公明党

甲州市地域防災計画
（市 HP）

問　災害避難所の保健衛生環境の整備を求める

答　トイレトレーラー購入の検討を指示

問　マイナンバーカードを未取得の方への対応を問う。

答　開庁時間以外に、予約制で毎週水曜日の夜間や毎月1回の休日に申請受付を、来庁が困難な高齢者などには施設や個人宅を伺い申請支援を行っている。

問　12月からマイナ保険証利用が基本となる。マイナ保険証を保有していない場合は資格確認証が交付されるが、マイナ保険証促進に向けての取り組みは。

答　市役所ロビーのデジタルサイネージ※やモニターで知らせるとともに、今後送付する通知にリーフレットを導入し周知を図る。窓口での説明や広報での周知に努める。医療機関とも連携が取れるよう調整する。

問　ヤングケアラーに対して、新しい支援はあるか。

答　子ども家庭支援員がヤングケアラーコーディネーター養成講座を受講し、子ども家庭センターへコーディネーターを配置していく。

問　ビジネスケアラーなどへの支援の考えは。

答　地域包括支援センターにおいての相談対応だけでなく必要に応じて自宅を訪問し、ニーズに合った制度の情報提供やサービスの調整を行うなど、ケアラーの負担軽減につながるよう努める。

問　帯状疱疹ワクチンの、今後の定期接種に向けた国の動きと今後の市の考えは。

答　国では接種の詳細について継続的に検討していくこととされた。引き続き国の動向の情報収集に努め、定期接種が決定された場合に備え準備していく。

問　防災危機管理に関わる女性職員は何人いるか。

答　昼夜を問わず対応が必要になること、職員数が限られ配置する余裕がなかったことなどから、現在は総務課防災危機管理室に女性職員は配置してない。来年度には担当部署の増員も含め配置に向け調整していく。

問　災害応急対策の福祉的な支援及びトイレトレーラーを含む保健衛生環境の整備についての取り組みを問う。

答　三角巾等の衛生用品の他、間仕切りを1150基、段ボールベッドを1000基保有し各庁舎に分散備蓄している。必要数はおおむね満たしている。非常食は1000人の3食1週間分として2万1000食分を確保している。

市長　災害時にトイレトレーラーの整備は必ず必要であると考えている。関係課に具体的検討を指示し、早急に検討内容を確認した上で導入時期を含め総合的な判断をしていく予定である。

問　大和地域のヘリポート整備の検討について問う。

答　大和地域には適地が見つからず困難であるが、例えば小学校校庭に散水設備の整備などの可能性を検討。

導入が求められるトイレトレーラー
（写真は県内自治体で導入されたトイレトレーラー）

※デジタル技術を使って情報や広告を表示するシステム。従来の紙やポスターの代わりに、ディスプレイやモニターを使用して、動画、イラスト、テキスト、音声案内などのメディア形式を表示できる。

問 世界農業遺産などの条例制定の考えは

答 市独自の取り組みとして今後検討していく

高畑　一幸 議員

政和クラブ

世界農業遺産（市HP）

第２回峡東地域世界農業遺産フェスティバル２０２４が笛吹市で開催、次回は山梨市で開催。

問 本年８月１日に昨年に引き続き子ども議会が、世界農業遺産によるまちづくりをテーマに開催された。参加した子ども達からも世界農業遺産によるまちづくり条例などの意見が出された条例制定の考えを問う。

答 子ども議会の議案には果樹園農業形式の持続継承や歴史、文化、行事、自然などを持続するなど様々なアイデアが提案された。条例制定は本市独自の取り組みとして、今後検討していく。

問 学校教育として伝統的な技術や知識、持続可能な農業の推進など、世界農業遺産継承に対する具体的な考えを問う。

答 小学校３年生は社会科副読本「私たちの甲州市」を活用しブドウの生産から醸造技術発展への移行過程、小学校５年生は推進協議会が作成した冊子及びＤＶＤに基づき世界農業遺産に認定された技術の学習、学校を支える地域を知り、ふるさと甲州市に愛着を持ち伝統、技術を伝える教育を引き続き取り組んでいく。

問 本年10月に第３回ブドウサミットが開催される取り組みと今後の対策は。

答 ６年ぶりの開催でアジア市場における青果物の動向やブドウ新品種可能性と題した講演やパネルディスカッションを予定し今後の販路拡大に期待。対策は、一般社団法人日本青果物輸出協会への委託事業でマレーシアへの販売促進活動の継続、情報発信と販路の拡大を図る。山梨県産ブドウ定着の方策を県関係機関と連携し探っていく。

問 市内には伝統的行事や伝承芸能が県や市指定の無形民俗文化財に指定されているが、団体の中では指導者の高齢化、担い手不足等で継続が危ぶまれている。伝統行事芸能を伝えていくための考えを問う。

答 活動内容や経緯は違うが、後世に伝えるものであり後継者確保の情報発信や活動の継承にできる限り協力していく。

問 西関東自動車道岩手ランプからのアクセス道路事業の見通しを問う。

答 県及び峡東３市による道路ネットワーク勉強会で広域的重要性・必要性を認識している。協議の結果を整備事業の要望書として県知事に10月に提出し、今後も県と事業化への推進を行っていく。

問 事業化に向けた今後の考えを問う。

答 **市長** 山梨市と本市がつながる岩手橋から勝沼インターチェンジまでは、１４０号と４１１号の物流、観光と生活道路、医療面の時間的短縮の必要性利便性があると考える。本市と山梨市に県の三者で話し合うことと、経費面から県が主体性を持ち、市道から県道への昇格に向け進めている。

問 ぶどうの丘美術館を世界農業遺産甲州記念館としての活用は

答 峡東地域世界農業遺産推進協議会で検討

日向　正 議員

ひまわり

ぶどうの丘美術館

問 後期高齢者を人間ドック助成金の対象にすることへの検討は。

答 75歳以上の方については、定期的に医療受診されている場合が多いことから、身近な地域でかつ、市の保健師や管理栄養士による継続的な支援が受けられる総合健診を推奨している。

問 大手チェーンの飲食店や大手スーパーなどの出店は見られるが、地元事業者は減少している。地元の小売業や飲食業の支援の検討は。

答 地域経済の活性化のため商品券事業の実施や、空き店舗対策事業や小規模企業者持続化補助など各種補助事業を実施している。

問 地域経済活性化のための目標値は。

答 創業件数は3件、商工振興資金融資事業は30件、企業誘致は2件。

問 魅力あるまちづくりとして、人口増地域や新しい商業集積地に子育て目的とした公園を配置することは。

答 公園に求められるニーズを把握し、既存公園の充実や更新を図るなど子育て支援を目的とした公園づくりを研究する。

組への加入促進を

問 組への加入が少ない行政区のコミュニティーへの市の取り組みについて問う。

答 近隣の方や、区長組長の皆さんが積極的にお声がけしていただければと加入促進を図っていただけると考える。

問 行政区における募金などの集金活動の見直しについて市の方針を問う。

答 募金等が経済的負担となったり、区や組への加入の妨げになる事は避けなければならないと考えている。

問 ぶどうの丘美術館を世界農業遺産甲州市記念館として活用できないかを問う。

答 世界農業遺産認定は本市のみではなく峡東3市全域での認定であり、峡東地域世界農業遺産推進協議会の中で検討している。

問 ぶどうの丘の宿泊施設を新しくして収益の安定を図り事業戦略を構築し、進めていく考えを問う。

答 既存施設を健全に保ち有効活用していく。

活用が求められる休館中のぶどうの丘美術館（ぶどうの丘平和交流館内）

問 バイオ炭製造の実施に向けての調査研究はできないのか。

答 一定の費用対効果が期待できるなどの効果を踏まえ、二酸化炭素排出削減に向けた取り組みの調査研究を進める。

問 環境基本計画に記載される小水力発電設備の新設について問う。

答 設置を計画している事業者が1社あるが、電力固定買取制度の認定に向けた協議を検討中。

飯島　孝也 議員

市民ハーモニー

甲州市ふるさと納税
（ふるさとチョイス公式HP）

問 ふるさと納税寄付金の用途についての明文化は

答 立案、効果、管理等研究する

問 健康増進や介護予防について広域的、地域的、趣味趣向的など目的対象を定めているか問う。

答 「甲州市国民健康保険第3期データヘルス計画」に基づき健康ウォーキング教室、食育出前授業、健幸ポイントこうしゅう事業など広域、地域的に充実している。

問 健幸教室、すこやか脳トレ講座など身体機能向上、認知症予防に取り組んでいる。また、生涯学習としても他課と連携し楽しみながら参加できる講座づくりを行っている。

ネットで見られる「甲州市ふるさと納税」のサイト

問 ふるさと納税寄附金の使い方として既存の事業の穴埋めに使わないと総務省からの示しもあるが状況は。

答 条例に沿ったメニュー事業を選択し新規事業や寄附目的に沿った継続事業への配分を行っている。

問 ふるさと納税寄附金について、使い方、集め方、充て方などの要綱の作成は。

答 基金残高の増加があり有効的な事業への活用が重要と考える。使い方等の立案、効果も含め研究する。

問 移住定住政策において全庁的な役割分担、市民や企業との連携をどう進めているのか。

答 移住定住政策は国の各省庁の事業の中でメニューが用意され、各課において専門性も求められている。庁内での共有と連携を、地域未来戦略室を中心に行う。

問 市の強みを生かした産業、起業、就業の支援を進めるべきと思うが。

答 現在、空き店舗対策や広域な合同企業説明会への参画、原産地呼称認証やGI勝沼の地理的表示指定などに取り組んでいる。

問 世界農業遺産認定を活用し教育面からの移住を進める考えは。

答 小中学校では特定の学校での対応は出来ていない。

問 住む、働く、起業するなどの立地場所の供給が不足していると考えるが。

答 空き家対策として管理不全空き家対応など活用可能な宅地の確保に取り組む。

答 遊休農地の賃借等、農業委員、農地利用最適化推進委員と協力し進めていく。

答 企業誘致については「産業集積促進助成金制度」を設け、市の特性や立地状況を生かした誘致に努める。

問 市の活性化には民間事業の展開が必要と考えるが働きかけについて問う。

答 人口減少社会での対策として本市の地域情報や魅力の発見発信をし、課題解決には民間、団体や企業との連携協力が必要。先進事例も参考に検討する。

市長 市の魅力を磨き上げていき、強みを生かし、住み続けたい、また行ってみたいまちづくりに努力する。

岡部紀久雄 議員

政和クラブ

ぐるり甲州市
大日影トンネル遊歩道

問 大日影トンネルの利用状況を問う

答 月平均5500人が来場している

問 大日影トンネルの施設整備状況と利用状況を問う。

答 令和5年に天井部分の修繕工事と施設整備を行い、本年3月にリニューアルオープンした。8月までに2万7490人が訪れ、月平均5500人が来場している。

問 今後の整備予定を問う。

答 当面は維持・安全管理を行い、5年毎に専門業者による安全点検を行う。

問 本市もいずれは酷暑となることも予想されるが、涼を求める場所として活用する考えはあるか。

答 活用に向けて検討していくが、当面は観光客の誘客に努めていく。

問 市民及び来場者にアンケートを実施してはどうか。

答 サービス向上や今後の活用について貴重な意見となることから検討していく。

問 賑わいある観光施設とするための取り組みを問う。

答 本市を代表する観光施設であり、明治の歴史的産業遺産として多くの方に訪れていただき活性化につなげることが目的である。誘客増加に向け、宣伝活動の強化と知名度アップに取り組んでいく。

問 国宝小桜韋威鎧兜（こざくらかわおどしよろいかぶと）の維持管理の状況について市の対応を問う。

答 所有者である菅田天神社が所蔵庫にて大切に保管している。市所有ではないため、直接対応することはないが、管理する上で何らかの問題があった場合には、県や文化庁と協議し適切に対応できるよう市としても関与していきたい。

問 一般公開の対応を問う。

答 管理上の問題もあり原則非公開となっている。年に1度、およっちょい祭りで特別に一般公開している。市としては周知に努める。

市民に限定公開される菅田天神社が所蔵する楯無（たてなしのよろい）鎧（こざくらかわおどしよろいかぶと）
（国宝「小桜韋威鎧兜、大袖付」）

市役所別館の利活用

問 市役所別館は老朽化に伴い解体工事が進められているが、活用について要望等はあったのか。

答 跡地の活用については、令和4年度に隣接する郵便局に行政側から提案をした。その際、賃貸借の要望があり、現在協議を進めている。

問 活用までの手順を問う。

答 相手方の社内調整に時間を要しているため、最終結論に至っていない。今後も協議交渉を続け、契約締結に向け努力していく。

問 多くの人に紹介するためにレプリカを作成し、庁内に設置できないか。

答 広く紹介する手段として、調査研究をしていく。

問 観光商工課と連携し、文化財を観光資源として今まで以上に活用し観光客誘致をしていく考えはあるか。

答 地域資源である文化財を活用し、観光施策と連携しながら地域活性化を図ることは重要である。観光商工課や関係機関と連携を図り、効果的な文化財の活用について検討していく。

常任委員会レポート

動画でCheck!

総務文教

厚生経済

総務文教常任委員会

8/28
9/13

甲州市ぶどうの国文化館
企画展示研修室及び和室が11月1日より利用できる施設に

総務文教常任委員会を8月28日、9月13日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

甲州市ぶどうの国文化館（公式HP）

■甲州市手数料条例の一部改正

問　改正内容を問う。

答　戸籍の附票の写しを全国のコンビニエンスストア等に設置の多機能端末機より取得でき、手数料は戸籍証明書350円、戸籍の附票の写し200円。

■甲州市ぶどうの国文化館設置及び管理条例の一部改正

問　改正内容を問う。

答　営利目的は利用不可で利用時間半日単位から夜間を加えた3区分、冷暖房使用料は3割増し、企画展示研修室の名称を研修室に。

■請負変更契約の締結

問　工事費増工内容を問う。

答　塩山中学校大規模改造工事（建築主体工事）のトイレの内装の工法変更と北館音楽室への生徒出入りのため仮囲い撤去と交通誘導員確保のため。

■その他で質疑した主な項目は以下の通りです。

◎シェアオフィス甲州の指定管理制度◎旧大和中学校の利活用◎塩山・塩山北中統合◎大藤小、玉宮小、松里小の3小学校のB&Gでの水泳授業の実施◎夏休み期間中のプール開放状況◎宮光園と甘草屋敷の振興◎勝沼図書館の利用拡大

総務文教常任委員会
◎髙野浩一　○飯島孝也
丸山国一　廣瀬明弘
高畑一幸　青柳好文
平塚　悟　相沢俊行
有賀公子

市内市外の利用者の利用が待たれる、勝沼ぶどうの国文化館の研修室

厚生経済常任委員会

9/12

定住促進住宅を会社の社宅に活用

厚生経済常任委員会を9月12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■重度心身障害者医療費助成金支給条例及び甲州市国民健康保険条例の一部改正

問　12月以降、重度心身障害者の資格確認は電子資格以外でも可能なのか。

答　12月2日以降の資格確認方法はマイナンバーカードに紐づけられた保険証か、1年間有効の保険証または、資格確認書により行う。

■市営定住促進住宅設置及び管理条例の一部改正

問　どこの市営住宅が対象となるのか。

答　対象は定住促進住宅なので、松里住宅、赤尾住宅、勝沼住宅となる。

問　社宅を利用する入居者の住民票の移動は。

答　社宅扱いなので住民票は定住促進住宅へ移していただく事となる。

■その他で質疑した主な項目は以下の通りです。

◎太陽光発電施設の火災◎鈴宮寮民間譲渡の進捗◎新型コロナワクチン接種◎大和自然学校◎地域おこし協力隊◎市長のトップセールス◎牧之原市との観光交流協定

厚生経済常任委員会
◎中村勝彦　○矢崎友規
日向　正　岡部紀久雄
小林真理子　小野公秀
佐藤浩美　荻原哲也

常任委員会レポート

動画でCheck!

補正予算

令和6年度
補正予算

予算決算常任委員会

9/17
8/28
9/30
9/11

塩山地区中学校再編について（市HP）

勝沼ぶどうの丘事業
委託料見直しで経費削減

予算決算常任委員会を8月28日、9月11日、17日、30日に開催し、令和6年度補正予算を審査しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

■診療所事業特別会計補正予算（第1号）

問　備品購入費、空気清浄機2台分の用途を問う。

答　県の新興感染症対応力強化事業補助金を活用し、医療用空気清浄機を購入する。診察室及び会議室に設置予定である。

■勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算（第1号）

問　施設経営費委託料540万円減額の内容を問う。

答　経費の見直しを行い、職員が行うことができる部分について委託料の削減を行った。委託内容は、夜間巡回分である。

問　これまで委託していたものを職員が担当することで手当等の対応はしているのか。

答　超過勤務手当を支給し対応している。

中学校統合に伴い、スクールバス関連工事や制服等への補助も議決された

来年度の統合に伴い、塩山北中から塩山中への指定制服等購入に補助

■令和6年度一般会計補正予算（第3号）

問　中学校統合に伴う塩山中スクールバスの乗降場所等の工事は、大規模改造工事と同様この2工事も、市単独事業ではなく学校施設改善交付金等の申請はできないのか。

答　検討はしたが、交付金は既に上限額に達しており、交付対象とはならない。今回は繰越金と地方債で賄う。

■令和6年度一般会計補正予算（第4号）

問　「交流・体験施設維持管理費」として、工事費約677万円の「道の駅甲斐大和」のエアコン設置工事内容と理由は。

答　エアコンの取替え台数は事務所が1基、休憩室が2基の都合3基である。設置から29年が経過し、部品もない。事務所は平米数も大きいので、エアコンは高額になる。

問　塩山中学校、塩山北中学校の統合に関わる指定制服等の購入補助について、塩山北中学校から塩山中に行かない生徒への対応はどうするのか。

答　目下、そのようなケースはない。指定している学校以外に通学をされる方に関しては、基本的には自己都合であるので、現在は通学方法や学校指定品等についても各自でご用意いただいている。

問　実際に指定校を変更するという方が出てきたときには、対応を検討するのか。

答　現在申請等は出ていないが、そのような事案が出た場合は検討する。

予算決算常任委員会
◎丸山国一　○矢崎友規
中村勝彦　日向　正
岡部紀久雄　廣瀬明弘
高畑一幸　青柳好文
髙野浩一　飯島孝也
小林真理子　相沢俊行
小野公秀　佐藤浩美
有賀公子　荻原哲也

GIKAI TOPIC

子ども議会開会

児童生徒１７人による子ども議会
（8/1 午前午後に分かれて実施）

子ども議会

■「子ども議会」は、市議会が発案し、市教育委員会、市校長会の協力を得て開催された。これは、市の未来を担う児童生徒が、議会運営を体験的に理解するとともに、政治への関心を深め、また、市の将来について考え、議会で質問や提案をすることにより、児童生徒に社会参画への態度や意欲を培うことを目的としている。さらに、保護者についても児童生徒の議場での活動を傍聴してもらい、市議会や行政の取り組みをより身近なものと感じてもらうことも目的としている。

令和6年度の子ども議会の取り組みは、次のとおり

■子ども議会は市内全小中学校から代表児童生徒17人が参加し実施。前回のキャリア教育出前授業から3カ月。子ども議会研究会に所属する議員が中心となり、全議員が参加する児童生徒のため、よりリアルな議会体験ができるようにと準備を行った。

■今年のテーマは「世界農業遺産によるまちづくり」である。先人たちが作り上げたこの農業形式、景観、歴史、文化、行事をいかに継承するかを目的とした条例が市長役の生徒により説明された。この条例案に対し、委員会へ付託し、質問、答弁、議場へ戻り、委員長報告がなされ、討論、採決と本番さながらの議会運営が成された。

■提案された意見は「勝沼インターに世界農業遺産の看板を」「映えるロゴを考えるべき」「スウィーツや加工品など世界農業遺産によるブランディングを」「農業の具体的な中身の周知を」「世界農業遺産サミットの開催や農業遺産ツアーは」など様々な目線で質疑が行われた。

■市議は17人。代表児童生徒も17人。それぞれがペアとなり議会の流れや所作等をレクチャーした。もちろん本物の議場を前に緊張する子ども達を議長室や控室、議場巡りをし、議場の議長席で座って写真を撮るなど、子ども達の緊張緩和と、少しでも議会の印象が残るようにと各議員たちも工夫が見られた。

発言内容を入念に打ち合わせ

議場の機器の使い方を学ぶ

未来へ紡ぐ、未来を担う子どもたちのメッセージ

■子どもの目線から見た甲州市の果樹園風景「当たり前のように過ごしていたけれど、今回の子ども議会を通じ考えるきっかけとなった」「誇らしいと思った」「他の誰でもなく自分たちが守っていかなければならない」など、閉会後の感想発表はとても充実した議会体験を物語っていた。

行政視察の受け入れ

本市議会では県内外の議会事務局から行政視察を受け入れています。

本年度既に視察された議会、また今年度予定されている議会の視察内容を紹介します。

■10月22日（火）
岐阜県瑞浪市
キャリア教育出前授業と子ども議会について

■10月23日（水）
長野県須坂市
キャリア教育出前授業と子ども議会・議会広報について

■11月12日（火）
熊本県宇城市
キャリア育出前授業と子ども議会について

前号に掲載したとおり、全国市議会議長会の事例集に本市議会が掲載された事による視察依頼。全国から注目されている事、実際視察に来て頂く事に感謝し、市の魅力含め発信したい。

いなべ市・磐田市へ視察

いなべ市の議会棟にて研修を受ける市議

議会運営委員会は、7月24日、25日の二日間、委員8名全員と議長の参加を得て、三重県いなべ市と静岡県磐田市にて「議会改革全般」、「議会基本条例について」、「予算決算審査のサイクルについて」のテーマに沿って視察研修を実施した。いなべ市では先進的な議会改革の事例を、磐田市では、本市でも設置済みの予算決算常任委員会の改善点を学んだ。両議会とも真摯に議会の活性化と改革に取り組んでいる事が理解できたと同時に、この研修で学んだ先進的な事例の数々を参考にし、今後の市議会の円滑な運営にいっそう力を注ぐ。

廃校活用の富津市へ

7月27日姉妹都市である富津市へ本市議会議員8名が行政視察に訪問した。主たる目的としては、富津市で旧環南小学校跡地に建設されたグラウンドを利用したドッグラン施設「マメノキドッグパーク」の視察。本施設は災害時には地域の避難所としても活用出来るとの事で、本市においても中学校の統廃合により生じる廃校があるため、今後の行政の動きを注視し、市や地域にとって最上の廃校の利活用が出来るよう市議会としても働きかけていく。

利活用された教室にて説明を受ける

甲州市議会公式 Youtube チャンネルを開設しました！

甲州市議会では、Youtube(ユーチューブ）の映像配信サービスを利用して、本会議の映像配信を試験的に始めました。
本会議（一般質問等）の様子を配信していますので、ぜひご覧ください。
なお、映像は峡東 CATV で当日及び再放送で流れているものと同様です。

※ご視聴される際の通信料は視聴者負担となります。スマートフォン等による視聴は、通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信業者から高額な料金請求がくる場合がありますので、特にご注意ください。

URL　https://www.youtube.com/@koho.koshushigikai

説明にチャプターがあります。

９月９日（初日）

00:06:08	矢崎友規議員
01:15:00	相沢俊行議員
03:00:06	小林真理子議員
04:05:03	廣瀬明弘議員
05:05:03	佐藤浩美議員
06:15:59	荻原哲也議員

９月１０日（２日目）

00:01:35	有賀公子議員
01:05:34	高畑一幸議員
03:00:35	日向正議員
04:00:33	飯島孝也議員
05:20:34	岡部紀久雄議員

動画で▶ Check!

9月9日

9月10日

表紙の写真

議案説明に答弁や討論。議長役児童の進行に対し、挙手や礼、発言のタイミングなど事前に教えてもらった所作を緊張した面持ちで行った子ども議会。全てを終えると安心したのか、最後の感想発表では、柔らかな表情の中、思い思いの発言があった。特に中学生からは次代を担う自覚と未来への展望を込めた頼もしい感想を聞く事が出来、大変有意義な一日となった。

12月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
				本会議（開会） 予算決算常任委員会		
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	予備日	厚生経済常任委員会	総務文教常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	予算決算常任委員会（補正予算）	予備日			本会議（閉会）	

○午前10時開会です。（日程変更はホームページ等でご確認ください）
○市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室（市役所本庁舎 3階）へお越しください。

こちら編集室

■最近の世の中、技術の進化は目覚ましいものがあります。AIが会話をし、スマホが財布になり、電気自動車が静かに走り出す時代。しかし、スーパーでキャッシュレス決済をしようとしたら、スマホの充電が切れて支払いができず、結局、隣のレジで現金を取り出す自分。便利さの一方で、どこかまだ人間らしさを残しているところが面白いものです。こうして、私たちは未来の便利さに振り回されながらも、しっかりと今日を生きています。議会も皆様の声に耳を傾け、時代に負けず、皆様の生活を支えるため、次の時代に向けて走り続けていきます。

秋の風が心地よく、木々が色づく季節。技術が進化しても、自然の美しさは変わらない。議会も皆様と共に歩んでまいります。（廣）

■議会広報編集委員会
市議会議長　平塚　悟
編集委員長　小野　公秀
副委員長　小林真理子
委員　丸山　国一
委員　日向　正
委員　岡部紀久雄
委員　廣瀬　明弘
委員　青柳　好文
委員　相沢　俊行
委員　佐藤　浩美

輝く 甲州市民

手塚（てづか） 和真（かずまさ） さん

駿台甲府高等学校　3年
（塩山ハンドボールスポーツ少年団→松里中学校→駿台甲府高校）

第48回全国高等学校ハンドボール選抜大会　優勝
高松宮記念杯第75回全日本高等学校ハンドボール選手権大会（インターハイ）　優勝

「全国優勝を目標に3年間頑張ってきた。皆で勝ち取った日本一最高です。」と語る手塚君。競技のスタートは「兄がハンドボールをしていたことで自身もいつの間にかスポーツ少年団に入団していましたね。笑」と話し、一番の思い出は「やはりインターハイ、私は身長が低いので、体力づくり、食事で体重増、ウェイトトレーニングを頑張ってきた。それが報われた瞬間でした。」今後の目標は「大学では、もっと努力して、広い視野を持ち自ら点を取りに行ける選手を目指します。」との事。後輩達に「思い通りにならない事が沢山あると思うが、一人で悩まず、周りの人に意見を求め、練習を重ね、自信を持って諦めず頑張ってほしい」とエールを送り、長年サポートしてくれた両親に「日々のサポート、自分の好きなことに集中できる環境を作ってくれてありがとう。これから大学でも活躍する姿を見せられるよう頑張るので、引き続きサポート、応援よろしくお願いします。」と少し照れくさそうに語ってくれた。

甲州市議会広報 No.76
発　行　甲州市議会
発行責任者　甲州市議会議長
編　集　議会広報編集委員会
〒404-8501　山梨県甲州市塩山上於曽1085番地1
TEL.0553-32-2111 内線 3111　FAX.0553-32-3122
メール　gikaijimukyoku@city.koshu.lg.jp
甲州市ホームページで議会広報のバックナンバーが読めます。
この印刷物は再生紙を使用しています。